

科目名	基礎柔道整復学Ⅰ（総論・上肢）	開設時期	通年
学年	1年	評価方法	(1) 定期試験 (2) 小テスト
単位数	4単位	授業回数	30回
目標	柔道整復術の対象となる上肢の損傷について、発生機序から鑑別、治療、患者指導までの基礎的知識を修得する。		
講義内容／前期			
1	柔道整復師とは（概論）・人体に加わる力		
2	損傷に関する身体の基礎的状态・損傷時に加わる力		
3	各組織の損傷 骨の形態と機能～骨損傷の概説		
4	骨損傷の分類①		
5	骨損傷の分類②		
6	骨損傷の症状		
7	骨損傷の合併症①		
8	骨損傷の合併症②		
9	小児、高齢者骨損傷特徴		
10	骨損傷癒合日数（グルト）		
11	骨折治癒過程		
12	骨損傷予後		
13	骨損傷治癒に影響を与える因子		
14	治療法－整復法①		
15	治療法－整復法②		

科目名	基礎柔道整復学 I (総論・上肢)	開設時期	通年
学年	1年	評価方法	(1) 定期試験 (2) 小テスト
単位数	4単位	授業回数	30回
目標	柔道整復術の対象となる上肢の損傷について、発生機序から鑑別、治療、患者指導までの基礎的知識を修得する。		
講義内容／後期			
16	鎖骨骨折		
17	鎖骨脱臼 (胸鎖関節)		
18	鎖骨脱臼 (肩鎖関節脱臼)		
19	肩甲骨骨折 (肩甲骨骨体部骨折・上・下角骨折～烏口突起骨折) ①		
20	肩甲骨骨折 (肩甲骨骨体部骨折・上・下角骨折～烏口突起骨折) ②		
21	上腕骨近位端部骨折①		
22	上腕骨近位端部骨折②		
23	上腕骨近位端部部骨折③		
24	上腕骨骨幹部骨折①		
25	上腕骨骨幹部骨折②		
26	肩関節脱臼①		
27	肩関節脱臼②		
28	肩関節脱臼③		
29	反復性肩関節脱臼①		
30	反復性肩関節脱臼②		

科目名	基礎柔道整復学Ⅱ(下肢・体幹)	開設時期	通年
学年	1年	評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト
単位数	4単位	授業回数	30回
目標	柔道整復術の対象となる下肢・体幹の損傷について、発生機序から鑑別、治療、患者指導まで基礎的知識を修得する。		
講義内容／前期			
1	柔道整復術および柔道整復師の沿革		
2	関節の損傷(捻挫・脱臼) 関節の構図と形態～ その他関節構成組織の損傷		
3	脱臼 脱臼の定義と概説①		
4	筋の損傷 腱の損傷、末梢神経損傷 血管系・リンパ系の損傷 皮膚の損傷		
5	評価、固定法、後療法		
6	指導管理 患者とその環境の把握		
7	頸部捻挫 頸部疾患		
8	胸肋関節損傷 肋間筋損傷 胸部・背部の打撲・胸背部の軟部組織損傷		
9	腰部の軟部組織損傷 腰部の疾患		
10	骨盤骨骨折		
11	股関節脱臼①		
12	股関節脱臼②		
13	大腿骨近位端部骨折 大腿骨骨頭部骨折～①		
14	大腿骨近位端部骨折 大腿骨骨頭部骨折～②		
15	大腿骨骨幹部骨折 大腿骨顆上骨折		

科目名	基礎柔道整復学Ⅱ(下肢・体幹)	開設時期	通年
学年	1年	評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト
単位数	4単位	授業回数	30回
目標	柔道整復術の対象となる下肢・体幹の損傷について、発生機序から鑑別、治療、患者指導まで基礎的知識を修得する。		
講義内容／後期			
16	大腿部打撲 大腿部の肉離れ 大腿部骨化性筋炎①		
17	膝関節脱臼①		
18	膝関節の軟部組織損傷		
19	下腿近位端骨折①		
20	下腿骨幹部骨折①		
21	下腿遠位端骨折		
22	下腿の軟部組織損傷		
23	距腿関節の軟部組織損傷		
24	ショパール関節の軟部損傷～中足部痛		
25	足・足指骨骨折(足根骨骨折～足指骨骨折)		
26	距腿関節脱臼・足根骨間関節脱臼		
27	足部軟部組織損傷(距腿関節損傷～中足部痛)		
28	頭蓋骨骨折		
29	顎関節脱臼 顎関節症		
30	肋骨骨折・肋軟骨部骨折・胸骨骨折		

科目名	臨床柔道整復学 I (上肢)	開設時期	通年
学年	2年	評価方法	(1) 定期試験 (2) 小テスト
単位数	2単位	授業回数	30回
目標	上肢の脱臼、骨折に対する整復・固定をシミュレーションし、整復の理論、固定の理論を実技により修得する。		
講義内容／前期			
1	鎖骨骨折 (定型) 整復法、固定法		
2	上腕骨外科頸骨折 (外転型骨折)		
3	上腕骨外科頸骨折 (内転型骨折)		
4	上腕骨骨幹部骨折 固定～指導管理		
5	上腕骨顆上骨折 後療法～注意事項		
6	上腕骨外顆骨折 整復法～注意事項		
7	上腕骨内側上顆骨折		
8	橈骨近位端部骨折 整復法～注意事項		
9	肘頭骨折		
10	モンテギア (Monteggia) 骨折 固定法～注意点		
11	前腕骨骨幹部骨折 固定法～注意事項		
12	コーレス (Colles) 骨折 (橈骨遠位端骨端線離開)		
13	スミス (Smith) 骨折 整復法～指導管理		
14	舟状骨骨折 整復法～予後		
15	中手骨頸部骨折 整復法～注意事項		

科目名	臨床柔道整復学 I (上肢)	開設時期	通年
学年	2年	評価方法	(1) 定期試験 (2) 小テスト
単位数	2単位	授業回数	30回
目標	上肢の脱臼、骨折に対する整復・固定をシミュレーションし、整復の理論、固定の理論を実技により修得する。		
講義内容／後期			
16	中手骨骨幹部骨折 整復～指導管理		
17	ベンネット (Bennett) 骨折		
18	基節骨骨幹部骨折 整復法～指導管理		
19	中節骨骨折 (頸部・骨幹部骨折) 整復法～指導管理		
20	肩鎖関節脱臼 整復法～指導管理		
21	肩関節脱臼 (前方脱臼) ヒポクラテス法		
22	肘関節脱臼 (後方脱臼) 整復法～指導管理		
23	肘内障		
24	第2中手指節関節脱臼 (Locking finger) 整復法～予後		
25	指節間関節脱臼 (背側脱臼) 固定法～予後		
26	母指MP関節背側脱臼 整復法～予後		
27	肩腱板損傷 鑑別診断～全体プログラム		
28	上腕二頭筋長頭腱損傷 後療法～全体プログラム		
29	内側側副靭帯損傷 (肘関節) 治療法～注意事項・予後		
30	槌趾 (マレットフィンガー) 固定法～予後		

科目名	臨床柔道整復学Ⅱ（下肢）	開設時期	通年
学年	2年	評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト
単位数	2単位	授業回数	30回
目標	下肢の脱臼、骨折に対する整復・固定をシミュレーションし、整復の理論、固定の理論を実技により修得する。		
講義内容／前期			
1	大腿骨頸部骨折 整復・固定法		
2	大腿骨骨幹部骨折 整復・固定法		
3	膝蓋骨骨折 整復・固定法		
4	下腿骨骨幹部骨折 整復・固定法		
5	果部骨折（外転損傷） 整復・固定法		
6	果部骨折（内転損傷） 整復・固定法		
7	踵骨骨折（踵骨単独骨折）整復・固定法		
8	中足骨骨折（第5中足骨基部裂離骨折） 整復・固定法		
9	足指骨折 整復・固定法		
10	股関節後方脱臼 整復・固定法		
11	膝蓋骨脱臼（側方脱臼） 整復・固定法		
12	足指脱臼 整復・固定法		
13	大腿四頭筋損傷 治療法～指導管理		
14	ハムストリングス損傷 治療法～指導管理		
15	膝関節側副靭帯損傷 治療法～指導管理		

科目名	臨床柔道整復学Ⅱ（下肢）	開設時期	通年
学年	2年	評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト
単位数	2単位	授業回数	30回
目標	下肢の脱臼、骨折に対する整復・固定をシミュレーションし、整復の理論、固定の理論を実技により修得する。		
講義内容／後期			
16	膝関節前十字靭帯損傷 治療法～指導管理		
17	膝関節後十字靭帯損傷 治療法～指導管理		
18	半月板損傷		
19	半月板損傷 固定法～全体プログラム		
20	アキレス腱断裂 治療法～指導管理		
21	下腿三頭筋肉離れ 治療法～指導管理		
22	足関節周辺損傷 治療法～指導管理		
23	習慣性足関節亜脱臼 治療法～指導管理		
24	顎関節脱臼(前方脱臼) 整復法～注意事項		
25	U字ギプス固定法		
26	肉離れに対する固定法（バンテージ使用）		
27	肉離れに対するテーピング固定法		
28	MCL損傷 症状		
29	MCL損傷のテーピング固定法		
30	症例検討①		

科目名	固定学 I (包帯法)	開設時期	通年
学年	1年	評価方法	定期試験
単位数	2単位	授業回数	30回
目標	柔道整復師が行う包帯固定法について学び、様々な外傷に必要な予防と治療の技術を修得する。		
講義内容／前期			
1	総論 1 包帯について 定義、目的、種類	材料、患者扱い、被覆包帯	
2	総論 2 巻軸帯とは、巻き方、基本形、通則		
3	三角巾 1 たたみ三角巾、提肘、三角筋の仕舞い方		
4	三角巾での足関節、手関節の固定		
5	指の包帯 1 隻指帯、指ほうか帯 ①		
6	指の包帯 1 隻指帯、指ほうか帯 ②		
7	指の包帯 2 全指帯、総指ほうか帯①		
8	指の包帯 2 全指帯、総指ほうか帯②		
9	指の包帯 3 不全指帯、指頭ほうか帯①		
10	指の包帯 3 不全指帯、指頭ほうか帯②		
11	手の包帯 上行麦穂帯、下行麦穂帯①		
12	手の包帯 上行麦穂帯、下行麦穂帯②		
13	前腕の包帯 螺旋帯、螺旋及び折転帯①		
14	前腕の包帯 螺旋帯、螺旋及び折転帯②		
15	復習、実技テスト		

科目名	固定学 I (包帯法)	開設時期	通年
学年	1年	評価方法	定期試験
単位数	2単位	授業回数	30回
目標	柔道整復師が行う包帯固定法について学び、様々な外傷に必要な予防と治療の技術を修得する。		
講義内容/後期			
16	肘関節部の包帯 離開亀甲帯		
17	集合亀甲帯		
18	肩甲関節と腋窩の包帯 上行麦穂帯①		
19	肩甲関節と腋窩の包帯 上行麦穂帯②		
20	下行麦穂帯		
21	さらし固定包帯 腰腹部の固定、折転なし及び折転有りの場合①		
22	さらし固定包帯 腰腹部の固定、折転なし及び折転有りの場合②		
23	胸部の包帯 胸十字帯、背十字帯①		
24	胸部の包帯 胸十字帯、背十字帯②		
25	胸部の包帯 2、提縛固定帯 1		
26	螺旋帯、デゾー I II 帯		
27	デゾー III 帯①		
28	デゾー III 帯②		
29	足部の包帯①		
30	足部の包帯②		